



TOYO UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION **Global Achievers Network**

～世界規模で活躍を目指す
東洋大学を実践・応援する～

2025年8月7日

一般社団法人東洋大学校友会

会長 神田 雄一

NWアドバイザー 高橋 一男

事業部会長 岡部 奈緒美

発起人・NW代表 小野寺 富保

AGENDA

1. 国際活躍を実践・応援する目的
2. 東洋大学のグローバル化
3. TUAA GAN（国際活躍ネットワーク）の参加条件
4. 想定する事業
5. 母校と校友会の役割分担について

参考：小野寺代表ならびに高橋アドバイザープロフィール

1. 国際活躍を实践・応援する目的

一般社団法人東洋大学校友会の存在意義

東洋大学建学の精神を顕現し、会員相互の親睦を図り、東洋大学の興隆発展に寄与すること



参加者の進化

国際活躍の実践知の共有と「他者のために自己を磨く」精神によって、参加者となる校友が常に進化する組織。多様な視点が進化を加速させる。



母校への貢献・応援

母校の目指す「グローバル人財」の育成に沿って、在校生や校友に対し実践知を持つ校友がさまざまな形態で、母校と一体となって将来ビジョンの実現を支援する。



2. 東洋大学のグローバル化

東洋大学「グローバル人財の育成」に向けた3つの柱

Career Education — キャリア教育

物事の本質を見極めるパーソナルスキルを磨く

国内・海外インターンシップの促進

年間を通じ個人の適性に応じたさまざまな
キャリア教育・就職支援

「未来を拓くトップセミナー」開催

外国人留学生のキャリア
就職支援



Globalization — 国際化

グローバル時代に必要な国際社会人としての基礎力を



海外留学の経済的負担を軽減する
独自の奨学金制度

海外でのインターンシップ・ボランティア
で、学生の国際的職業観を養成

語学力の強化

研究分野から世界へ発信

国際的な視野を醸成

Philosophy Education — 哲学教育

基盤教育で「哲学」分野の学びを必修化

国際哲学研究センターの開設

実践的な哲学教育プログラムの開発



哲学を基盤に、次世代のリーダーを育成
『東洋大学井上円了リーダー哲学塾』

「哲学する」姿勢を身につけ個性を持てる人を目指す



3. TUAA GAN（国際活躍ネットワーク）の参加条件

東洋大学校友会会員（在校生・教職員・卒業生等）であり、以下の点を理解し本人が出来る範囲で協力することを参加条件とする。

- ①東洋大学建学の精神、東洋大学の心を理解していること。
- ②一般社団法人東洋大学校友会の存在目的を理解していること。
- ③国際活躍の経験の有無にかかわらず、ネットワークの目的に賛同すること。

活動の中で奮闘している会員に、「他者のために自己を磨く」精神を以て広く参画してもらうことを目的としており、高度な知見を有する方や海外での就業・留学・生活経験を有する方に限らず、今後グローバルで活躍したい方、グローバル分野に興味がある方までを含め、老若男女を問わず参加いただきたい。



4. 想定する事業

母校サポーターとして、母校と一体となった運営を行う。それぞれの経験を持つメンバーがアイデアを出しながら、東洋大学らしいネットワークづくりに注力する。

東洋大学の教育理念

自分の哲学を持つ

多様な価値観を学習し理解するとともに、自己の哲学(人生観・世界観)を持つ人間を育成する。

本質に迫って深く考える

先入観や偏見にとらわれず、物事の本質に迫る仕方、論理的・体系的に深く考える人間を育成する。

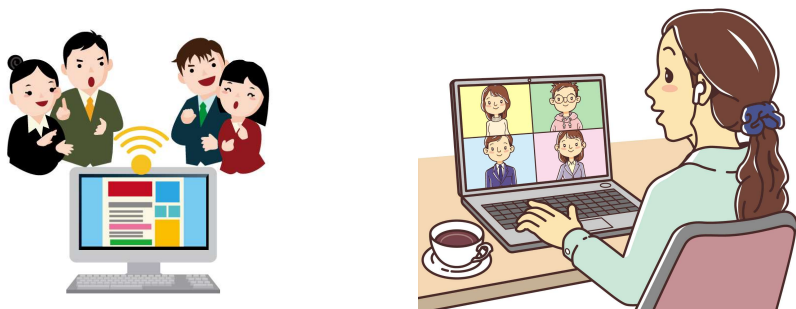
主体的に社会の課題に取り組む

社会の課題に自主的・主体的に取り組む、よき人間関係を築いていける人間を育成する。

情報発信 & コミュニケーション

メンバー間のZoomミーティング等により参画者拡大を図りながら進めていく。

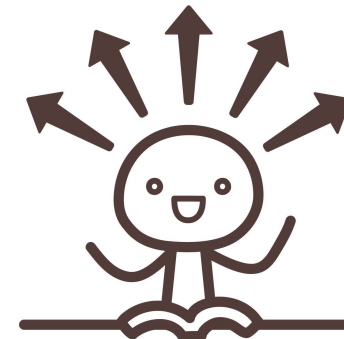
- ・メンバー間の持つ実践知による情報発信(業種、地域、職種等リレー方式)
- ・テーマ別講演動画配信



母校の教育・研究へのサポート

母校（国際教育センター等）との打ち合わせによる支援事業の決定が原則。

- ・在校生のキャリア相談、留学生の就職支援
- ・在校生の留学支援
- ・全ての校友への支援の橋渡し
- ・研究へのアンケート、モニター協力



5. 母校と校友会国際活躍ネットワークの役割分担について ～今後母校との協議により暫時改定

海外の同窓会に見る課題は、国内会員組織と同様に①メンバーの名簿管理②会員同士のコミュニケーションコストと手間に加え、海外では③母校愛醸成に資する大学情報の不足も見受けられる。そうした中、各同窓会組織が活性化し、「他者のために自己を磨く」ボランティア精神に則り、大学、在校生、校友同士を支援する仕組み構築が求められる。また、卒業生のネットワークは、各ネットワークが拡散・拡大していく為の支援や刺激提供が必要であることから、下記役割等を母校と協議して進めていくこととしたい。



- ①母校情報の発信
- ②会員組織へのメッセージ
(動画、Zoom含む)
- ③支援が必要な事に対する
校友会との協議・協業



東洋大学校友会
TOYO UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION



- 海外会員組織に対して
- ①名簿管理
 - ②HPの無償貸与と運営代替
(一定のルール範囲)
 - ③メールコミュニケーション
の代替
 - ④母校情報の伝達

母校に対して
海外支部含め会員組織窓口

小野寺代表自己紹介

Who is Tomiyasu Onodera (小野寺富保)

ジェンパクト株式会社（GEからのスピンアウト会社）
バイスプレジデント（執行役員）、ハイテク/製造業営業本部



【経歴】

- 1982～86年 : 東洋大学法学部経営法学科
- 1986～87年 : SSK佐々木スポーツ株式会社（商品部）
- 1988～91年 : 州立アリゾナ大学政治学部
- 1992～93年 : Kelly Advertising Service Inc.（米国アリゾナ州）
- 1993～97年 : ヤマビューティーメイト株式会社（国際部係長）
- 1997～2004年 : ジュピターテレコム株式会社（現J-COM株式会社；資材調達部課長）
- 2004～12年 : 日本マイクロソフト株式会社（Global Procurement シニアマネージャー）
- 2012～15年 : プロキュリアン／アクセンチュア（日本代表／アクセンチュア シニアマネージャー）
- 2015～22年 : SAPジャパン株式会社（バリューアドバイザー ディレクター）
- 2022年～現在 : ジェンパクト（執行役員）

【主な業務経験及び】

- 消費財、通信、IT業界、コンサルティングでの調達・購買業務歴29年（直接材11年、間接材18年）、国際物流、SCM業務歴11年
- アサヒグループ、アステラス製薬、日東電工、ディズニー、チュールビ生命、ロレアルなどへの調達・購買コンサルティング
- 調達・購買、SDGsなどでの講演、ブログ執筆など多数
- 「進化するデジタルトランスフォーメーション Beyond 2025」（プレジデント社）執筆（共著）
- マイクロソフトにて顕著な実績に対するアワード「スターアワード」受賞（主にポータル構築業務のオフショア化による）
- マイクロソフトにて「社長賞」受賞（外部人材契約に関するリスク削減プロジェクト）
- SAPにて「社長賞」受賞（中小企業庁との中小企業の海外展開に対する支援）

【資格など】

- リーン・シックスシグマ／グリーンベルト、デザイン・シンキング／認定ファシリテーター



世界はワン・グローバル

これからの世界は日本だけでは成り立ちません。“井の中の蛙”で“ゆでガエル”にならないためには、世界で戦うためには、哲学に加えて世界で戦う知識が必要です。

国際経済圏



国ごとの取引

基本姿勢（哲学）

- 経験がある
- 専門性がある
- 自信がある
- やりたいこと、やるべきことをやっている
- 常にポジティブに前向き



グローバル要件（国際性）

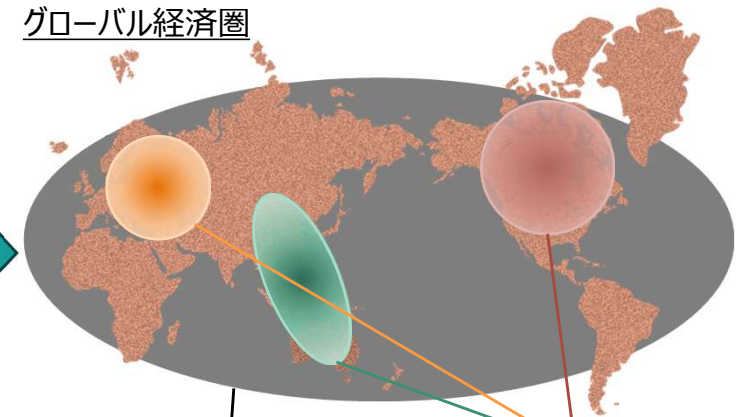
- 英語
- 発言力
- リーダーシップ
- ダイバーシティ & インクルージョン
- 継続的学習



グローバル人材

- ✓ グローバル企業で活躍
- ✓ ジョブリスクの軽減
- ✓ 大きな収入の増加
- ✓ 夢の実現
- ✓ 無限の可能性

グローバル経済圏



グローバル経済圏

地域経済圏

高橋アドバイザー自己紹介



略歴

- 1988年6月 国立放送教育開発センター（改組後メディア教育開発センター）助手
- 1990年4月 同センター助教授
- 1997年4月 東洋大学国際地域学部（板倉キャンパス）に教授として着任
- 2006年4月 国際地域学部国際地域学科 学科主任 （～2010年3月までの4年間）
- 2010年4月 タイ、チュラロンコン大学政治学部客員教授 （～2011年3月）
- 2011年4月 国際センター副センター長 （～2015年3月）
- 2015年4月 国際担当副学長ならびに国際教育センターセンター長 （～2024年3月までの9年間）
- 2024年3月 東洋大学国際学部国際地域学科 定年退職
- 2024年4月 東洋大学名誉教授
- 2024年10月 東京東信用金庫お客様サポート部アドバイザー就任 （～現在に至る）